

2022年5月6日号掲載



各地の話題 大郷町

農業にドローンの活用を実感



大郷町農業委員会(佐々木洋悦会長)はこのほど、農業用ドローン(小型無人飛行機)の研修会を開催し、農業委員を含め50人が参加した。

研修では、ドローンの特徴や性能、購入価格や操縦免許の詳細について説明を受けた。30aの圃場で実演を行い、起点と終点を指定して自動航行で散布の様子を見学。ドローン本体を見るのが初めてという参加者が多く、約二畳分の機体の大きさに驚いていた。

研修会は、近年ドローンを使った作業の省力化が話題になっていることや、大郷町では研究開発や産業への活用、教育、地域づくり事業推進のためドローン活用に係る連携協定を関係企業と締結していることもあり開催が実現した。

「従来のような個人での薬剤散布は重労働で時間もかかる。ドローン活用で若い後継者が農業に魅力を感じてもらうことで、後継者不足解消に繋げたい。また、委員会の活動の中でドローンを活用して遊休農地調査を安全かつ短時間で行うこともできる。今後、さらに研修を重ねてドローンの活用法を探りたい」と佐々木会長は話す。

【記事提供：大郷町農業委員会】